

2022年5月13日

プレスリリース

## 「第3回パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議」を 日本で開催

国連経済社会局(UNDESA)/国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局 共催

日本国環境省 ホスト

地球環境戦略研究機関(IGES)、国際連合大学(UNU) 協力

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES:アイジェス)は、持続可能な開発目標(SDGs)と気候変動対策の相乗的な実施を強化し、加速させることが、2030年までのSDGsおよびパリ協定の1.5度目標の達成に重要となっていることを踏まえ、2022年7月20日(水)~21日(木)に、国連経済社会局(UNDESA)および国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局の共催による「第3回パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議」に協力します。本会議ではハイレベル開会セッションを皮切りに、気候変動とSDGsの相乗効果(シナジー)やコベネフィットの強化を実現するための行動に焦点を当て、各国、地域、グローバルな文脈における関係ステークホルダーの経験、課題、機会が共有されます。

国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)では、現在各国の自国が定める貢献(NDC)に記載されている目標値をすべて足し合わせても、2030年の温室効果ガス排出量は2010年比で13.7%増加することに対し、深刻な懸念が示されました<sup>1</sup>。また、SDGsについても、例えばアジア太平洋地域では、このままの進捗状況が続く場合、104の測定可能なターゲットのうち9つしか達成できないことが指摘されています<sup>2</sup>。

こうした中、2022年4月4日に発表された気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第6次評価報告書第3作業部会報告書(AR6/WG3報告書)では、気候変動への対処と持続可能な開発の改善とのシナジーの重要性が強調されました。同報告書では、気候変動対策もまた、すべての人にとってより良い未来を実現するための手段との考えが示されるとともに、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念の実現に不可欠であり、かつ政策立案者が対処すべきトレードオフの可能性がある分野も特定されました。このように、ともに2015年に採択されたパリ協定とSDGsは互いに独立して存在するものではなく、補完的な関係にあることから、気候変動対策とSDGsの統合的なアプローチを実践するための行動を加速することが強く望まれています。

第1回パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議は、2019年4月にコペンハーゲンで開催されました。第2回の会議は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、2020年5~6月にオンラインで開催されました。IGESは過去2回の会議において、武内和彦理事長らが登壇するとともに、環境省とともにフォローアップのイベントを開催するなど、積極的な役割を果たしてきました。2023年に折り返し地点を迎えるSDGsの重要な節目に日本で第3回

<sup>1</sup> グラスゴー気候合意 1/CMA.3: [https://unfccc.int/sites/default/files/resource/cma2021\\_10\\_add1\\_adv.pdf](https://unfccc.int/sites/default/files/resource/cma2021_10_add1_adv.pdf)

<sup>2</sup> アジア太平洋 SDG 進捗報告書 2021 (日本語翻訳版): <https://www.iges.or.jp/en/pub/ap-sdg-2021/ja>

の会議が開催されることは、日本の政府やステークホルダーにとっても、パリ協定の1.5度目標とSDGs達成への相乗的な取り組みを強化し、またポストSDGsを見据えた知見・経験を蓄積する上でも重要な足掛かりとなるでしょう。

**【開催概要】**

会議名称 第3回パリ協定と持続可能な開発のための2030アジェンダのシナジー強化に関する国際会議  
Third Global Conference on Strengthening Synergies between the Paris Agreement and the 2030 Agenda for Sustainable Development

日程 2022年7月20日(水)～7月21日(木)

場所 国際連合大学国際会議場(東京)、オンライン参加あり  
詳細については、受付サイトがオープン次第、お知らせします。

主催 国連経済社会局(UNDESA)/国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局

ホスト 日本国環境省

協力 IGES、国際連合大学(UNU)

予定

- ・ ハイレベル開会セッション
- ・ 分科会、ステークホルダーセッション、サイドイベント等

その他、会議の経緯・概要等については以下のウェブサイト(英語)を参照ください。  
URL: [www.un.org/en/climate-sdgs-conference-2022](http://www.un.org/en/climate-sdgs-conference-2022)

**【本件に関するお問い合わせ】**

公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)  
戦略マネジメントオフィス

広報担当: 勝池(かついけ)、庄(しょう)、

Tel: 080-7410-1620

Email: [iges\\_pr@iges.or.jp](mailto:iges_pr@iges.or.jp)

<http://www.iges.or.jp/>

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES: Institute for Global Environmental Strategies)について

IGESは、アジア太平洋地域における持続可能な開発の実現に向け、国際機関、各国政府、地方自治体、研究機関、企業、NGOなどと連携しながら、気候変動、自然資源管理、持続可能な消費と生産、グリーン経済などの分野において実践的な政策研究を幅広く行っています。1998年、日本政府および神奈川県の実績により設立。本部は神奈川県葉山町に所在し、約150名の研究者を擁し、その3分の1強が外国籍。関西(兵庫県)、北九州、北京、バンコク、東京の各センター・事務所と共に、グローバルおよびアジア太平洋地域のネットワークを生かした戦略研究を展開しています。